

除草剤散布機

VL-1

VL-2

取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために
ご使用前には必ず取扱説明書をお読み下さい。
誤った使い方をすると事故を引き起すおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品とともに保存して下さい。

もくじ

はじめに	1
安全に作業するために	2
組み付け方	4
配線のつなぎ方	7
コントローラーからの配線	9
コントロールボックスの操作	10
取扱いについて	11
散布量の調節	13
不調の発見と処置	16
清掃と保管	16
ロールの組み換えについて	17

『はじめに』

《使用目的について》

除草剤散布機 VLは粒状の除草剤を散布することを目的とした作業機です。

使用目的以外の使用や改造などは、決しておこなわないで下さい。

使用目的以外の使用や改造をした場合は補償の対象になりませんので、ご注意下さい。

《ご使用前に》

- この取扱説明書は除草剤散布機の取扱方法と使用上の注意事項について記入してあります。**ご使用前には必ず、この取扱説明書を理解するまでお読みの上、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用下さい。**
- お読みになった後も、必ず製品とともに、保管して下さい。
- 製品を貸したり、ゆずり渡される場合はこの取扱説明書を製品に添えて、お渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失、または汚損された場合は、速やかにお買い上げ先にご注文下さい。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますのでご了承下さい。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げ先にご相談下さい。
-  印の下記マーク付の項目は、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守下さい。

 危険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「**安全に作業するために**」が記入してあります。ご使用前に必ず、お読み下さい。

安全に作業するために

ここに記入されている注意事項を守らないと、傷害や事故、機械の損傷が生じるおそれがあります。

●散布時の注意項目



警告

毒性の強い薬剤を散布する時は、身体への害を防止するため必ずマスクやメガネ、手袋等を着用してください。

〔守らないと〕

薬剤による中毒等をおこすおそれがあります。



注意

雨の日など、天候の悪い環境での薬剤散布は行わないでください。

〔守らないと〕

正常な散布が行えず、薬剤効果が得られません。

●電装に関する注意項目



注意

格納時は電気部品や配線類を点検し電源との接続をはずしておいて下さい。

〔守らないと〕

ショートしてやけどや火災をおこすおそれや感電するおそれがあります。



注意

ぬれた手で配線や電気部品に触れないで下さい。

〔守らないと〕

感電するおそれがあります。

●回転部分に関する注意項目



注意

モーター回転時は回転部分（ロール、スピナー）へ手や身体を近づけないで下さい。

〔守らないと〕

巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。

●薬剤投入時の注意項目



注意

薬剤の投入は平坦な場所でトラクターとロータリーを停止させ、かつロータリーを下げた状態で行ってください。

〔守らないと〕

トラクターやロータリーの不意な動きによってケガをするおそれがあります。

●移動時の注意項目



注意

ホッパー内に薬剤を入れたままの走行は絶対に止めてください。

〔守らないと〕

散布機の故障の原因となります。

●取付時の注意項目



注意

散布機の着脱は平坦な場所でトラクターのエンジンを停止させ、ロータリーを下げた状態で行ってください。

〔守らないと〕

トラクターやロータリーの不意な動きによってケガをするおそれがあります。

●清掃・整備時の注意項目



注意

清掃や整備はトラクターのエンジンを停止させ、ロータリーを下げ、電源コードを外してから手袋を着用して行ってください。

〔守らないと〕

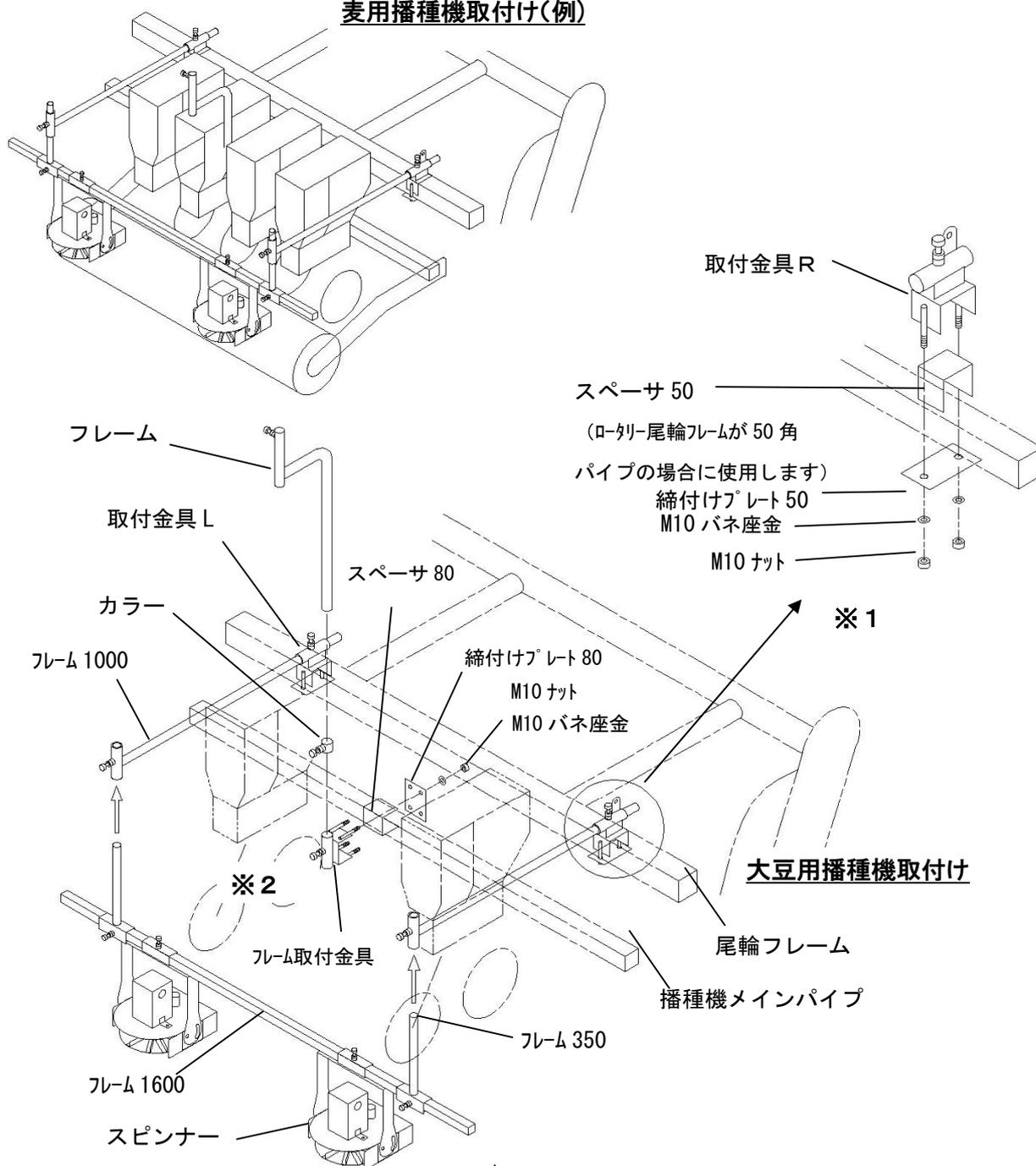
不意な作動によりケガをするおそれがあります。

組み付け方

フレームの組み付け

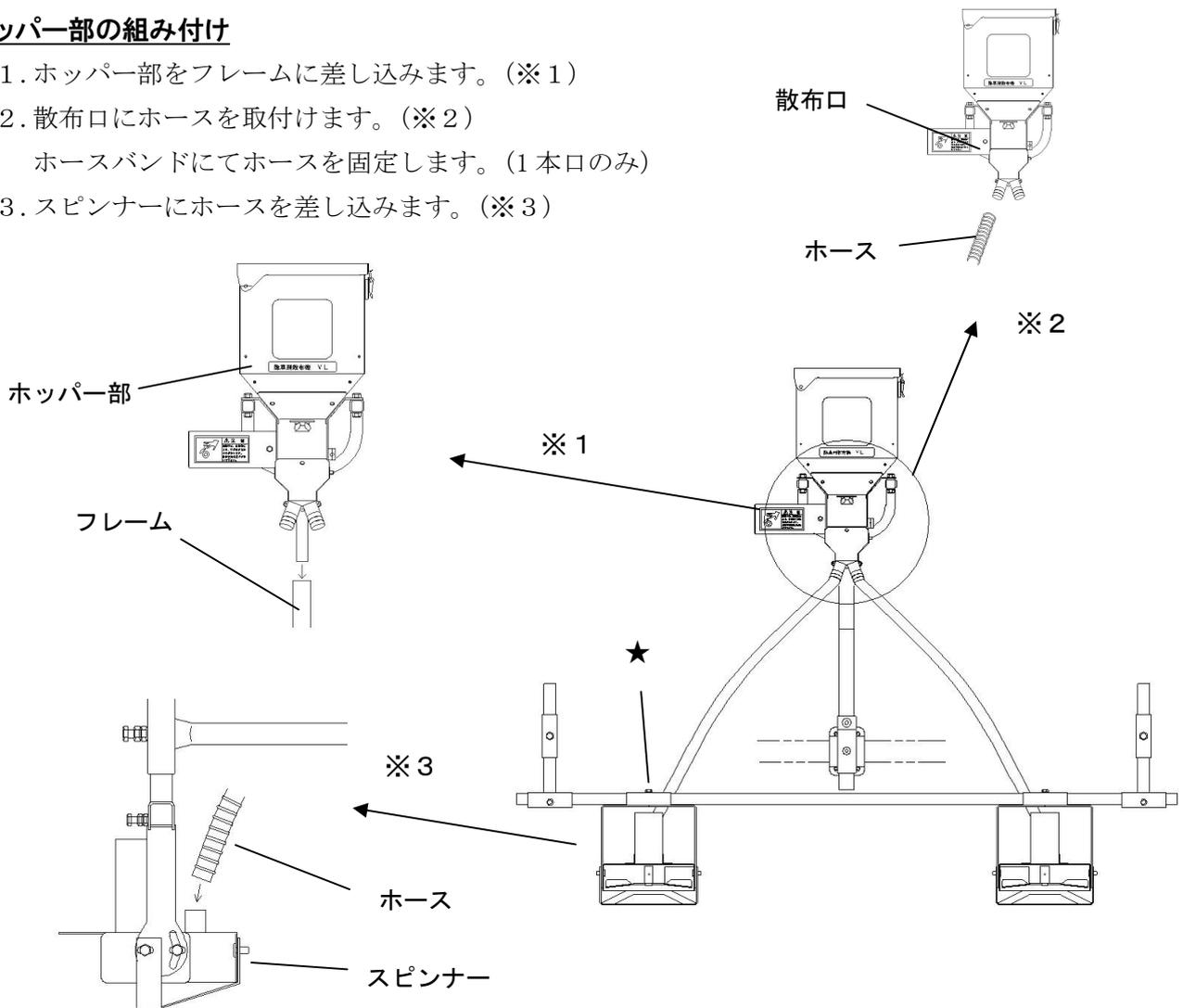
1. 取付金具R、取付金具Lをロータリーの尾輪フレームに取り付けます。(※1)
 ※ 播種機中央を基準に振り分けるようにセットして下さい。
2. 取付金具R、取付金具Lにフレーム 1000 を差し込み仮締めします。
3. フレーム 1600 にスピナー・フレーム 350 をはめ込みます。フレーム 350 の間隔を
 取り付け左右のフレーム 1000 の間隔に合わせ、フレーム 1000 に差し込み仮締めします。
4. フレーム取付金具を播種機メインパイプに組み付けます。(※2) フレームを、
 播種機メインパイプに取り付けられない場合は、ロータリー尾輪フレームに取り付けて下さい
5. フレームにカラーをはめ込み、フレームをフレーム取付金具に差し込み仮締めします。

麦用播種機取付け(例)



ホッパー部の組み付け

1. ホッパー部をフレームに差し込みます。(※1)
2. 散布口にホースを取付けます。(※2)
ホースバンドにてホースを固定します。(1本口のみ)
3. スピナーにホースを差し込みます。(※3)

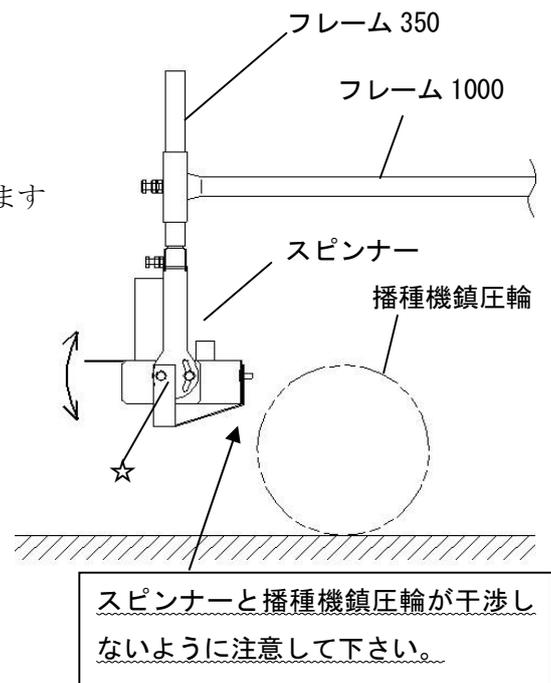


スピナー幅・高さの調整

※播種機を作業状態にセットした後、行って下さい。

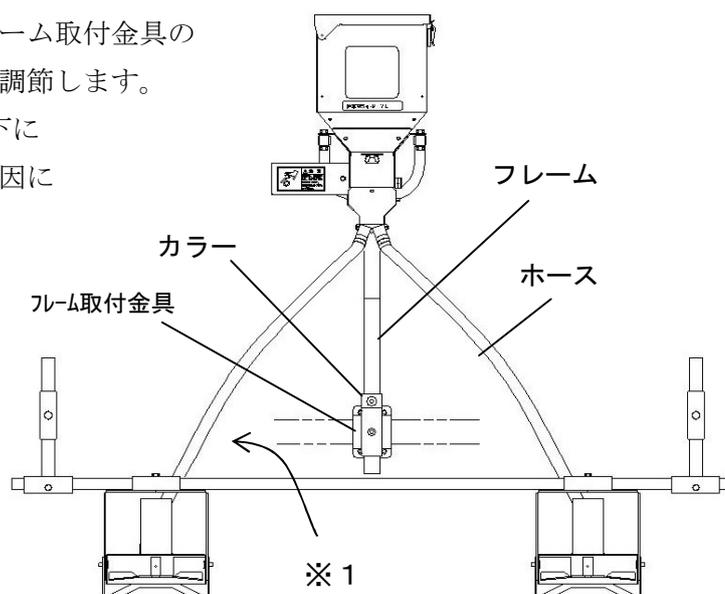
スピナーの高さ、角度及び幅の調整により散布幅を確保します。テスト散布を行い調整して下さい。

- スピナー高さは、フレーム 350 の上下により調節します
- スピナー角度は、右図☆印ボルトを緩め調節します
- スピナー幅は、上図★印ボルトを緩め調節します
(VH-2 の場合のみ)



ホッパー部の調整

- 1、ホッパー部の高さを調整します。フレーム取付金具の押しボルトを緩め、フレームを上下し調節します。
ホースの角度が地面に対して45度以下になると薬剤の流れが悪くなり詰まる原因になりますので注意して下さい。(※1)



ホースが長い場合は、切断して下さい。

カラーは、フレームの上下調節の際ストッパー代りに使用して下さい。フレームを下げる場合まずカラーを上げ固定しておきます。次にフレームをカラーに当たるまで下げます。

最後に、各部のボルト・ナットがしっかり締まっているか確認して下さい。

配線のつなぎ方

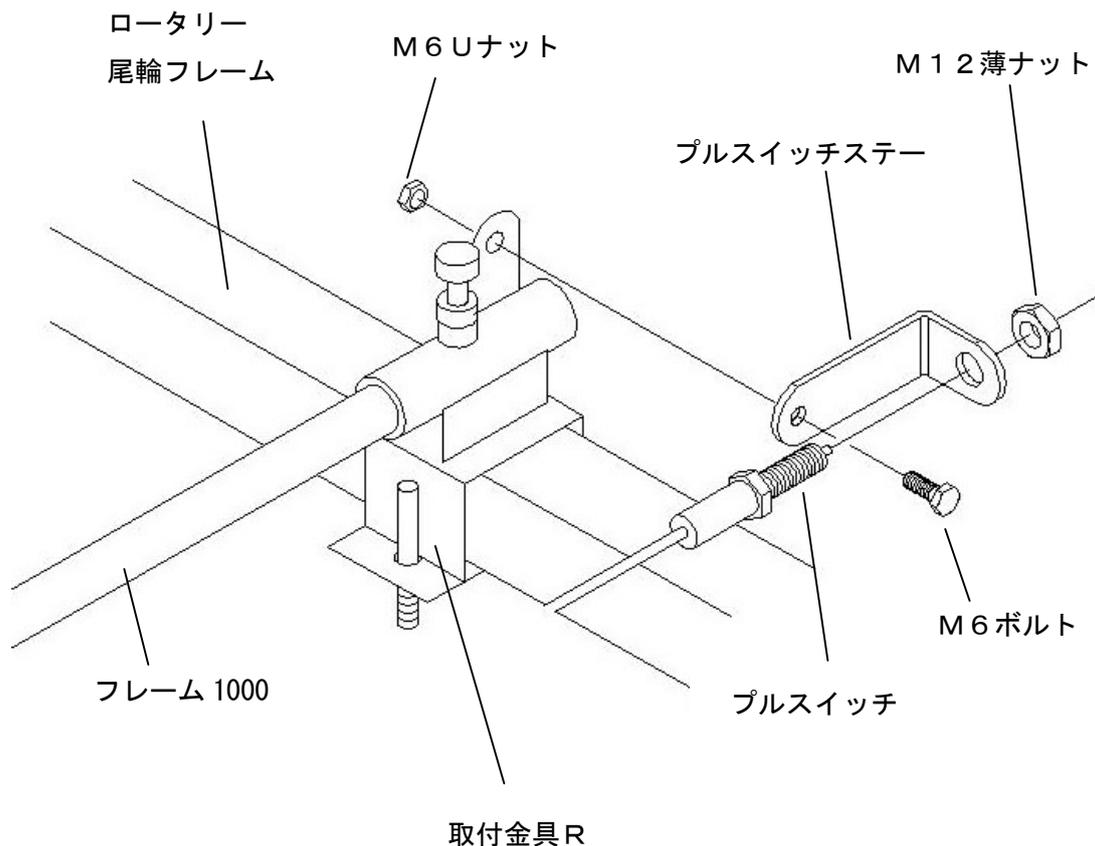


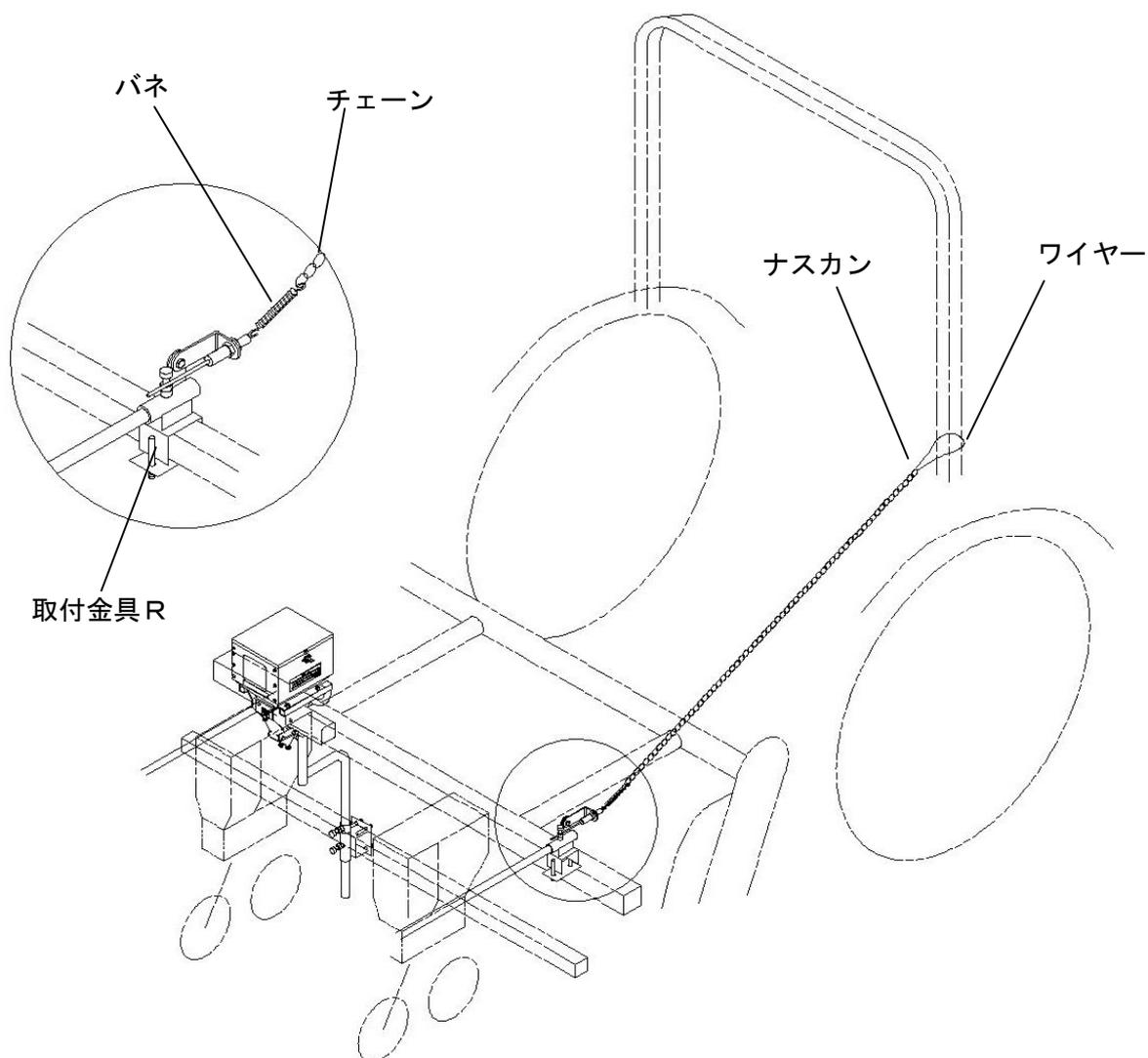
注意

ぬれた手でバッテリーや接続部にふれないで下さい。

① プルスイッチを取付けます。

1. プルスイッチステーを取付金具Rに取付けます。(M6 ボルト)
プルスイッチステーが軽く旋回するように調整して下さい。ボルトの締めすぎに注意して下さい。
2. プルスイッチステーにプルスイッチを取付け、M12 ナットで締付けます。
3. プルスイッチ先端の穴に、引きバネを引っかけます。(P8 参照)
4. 安全フレーム等任意の場所にワイヤーを巻付け、チェーン先端のナスカンで接続します。(P8 参照)
5. ローターが下がった状態でプルスイッチが作動する(引っ張れる)長さにチェーンを調節します。長さはチェーンを引っかける位置で調節して下さい。(P8 参照)





②コントロールボックスを取付ける

運転席の右側フェンダーなどに、マジックテープで固定します。

ロータリ上下レバーに当たらない様に貼付前に位置を充分確認してください。

③配線を接続する（コントロールボックスの操作 P9 参照）

- ・コントロールボックスより出ているカプラと同色カプラコードを接続します。
- ・反対側のカプラをそれぞれ電源・ホッパー部繰り出しモーター・スピナーモータープルスイッチへ接続します。
- ・配線完了後、モーターを回し動作確認して下さい。

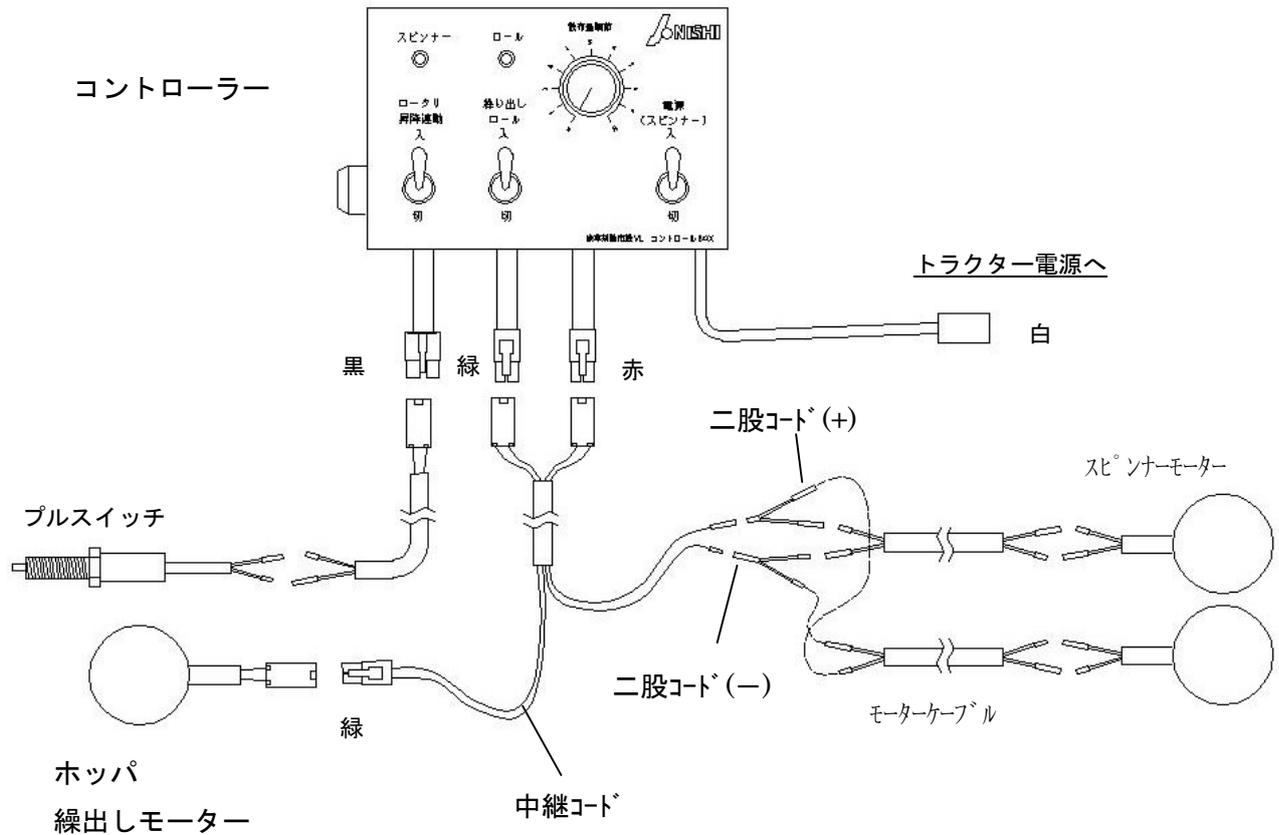
④配線のたるみを直します

付属品の配線バンドでフレーム及びロータリーにたぐり止めます。

ロータリー上下時、配線が引っ張れないよう注意して下さい。

※配線完了後、正常に作動するか確認して下さい。

コントローラーからの配線図



コントロールボックスへの接続は、同職のカプラを接続してください。

※V L-1の場合、モーターケーブルは1本になります。また、二股コードは梱包されていません。

電源は、トラクタ座席周辺の作業機用電源から取り出してください。

★バッテリーから電源をとる場合は、別途オプション品が必要になります。

使用上の注意

◎コントロールボックスの水ヌレは厳禁です。使用に際して充分注意して下さい。

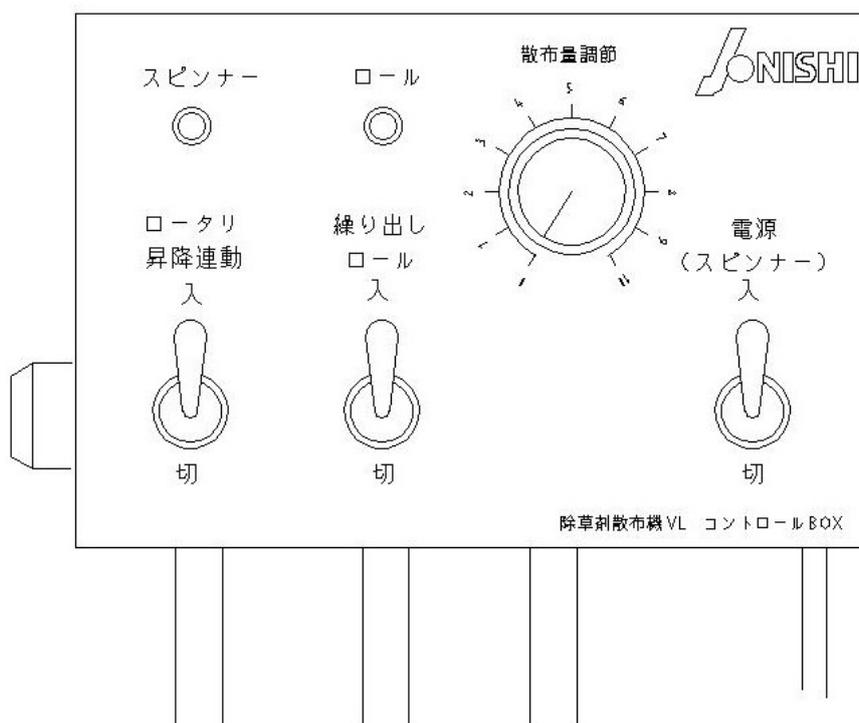
コントロールボックスの操作

電源スイッチ (スピナー)	電源の”入””切”及びスピナーの”入””切”を行います。 電源を入れるとスピナーが回転をします。(スピナーランプ点灯)
ロータリー昇降 連動スイッチ	”切”側へ倒した時は 繰り出しロール の”入””切”により作動、停止します。 ”入”側へ倒した時は プルスイッチ によりロータリーの下降・上昇に連動して繰り出しの作動、停止が自動的に行われます。(繰り出しロールONの時) 但しスピナーは、電源スイッチを切らないと止まりません。
繰り出しロール スイッチ	ロータリー昇降連動を使用しない場合は、このスイッチで繰り出しの”入””切”を行います。 ロータリー昇降連動を使用する場合は、”入”にしてください。 (繰り出しロール回転中は、ロールランプが点灯)
散布量ダイヤル	このダイヤルで、散布量を調整します。 目盛1以下では、作動しませんので注意してください。 (散布量の設定方法は、ページを参照してください)

注意

電源スイッチが”入”の時は、繰り出しロールの”入””切”やロータリー昇降連動の”入””切”関係なく、常時スピナーが回転しています。

作業終了時や中断する場合は必ず電源スイッチを”切”にしてスピナーを停止してください。



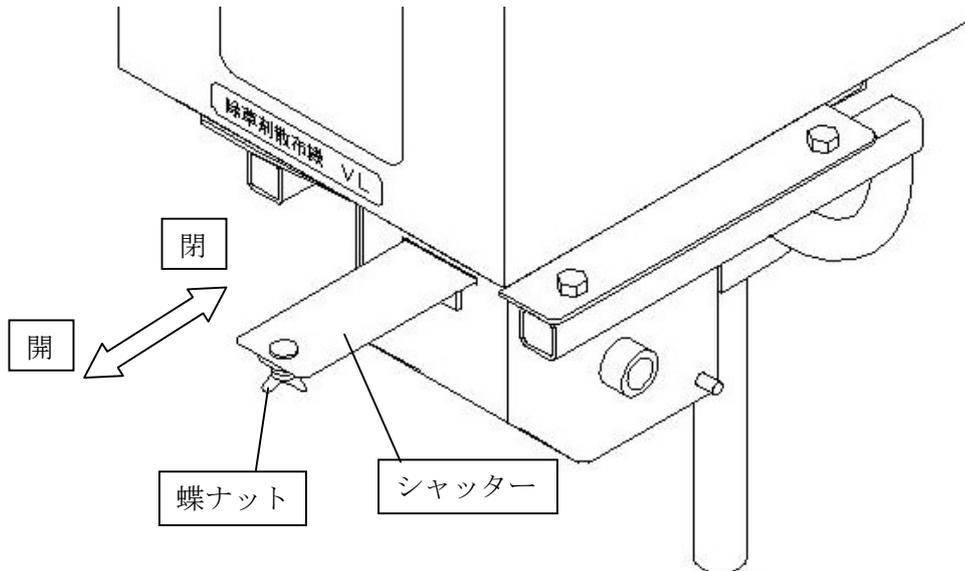
取扱いについて

※必ず、トラクタのエンジンを停止させ、ロータリーを降ろし、コントローラーの電源を切り、作業してください。

① シャッターの操作方法

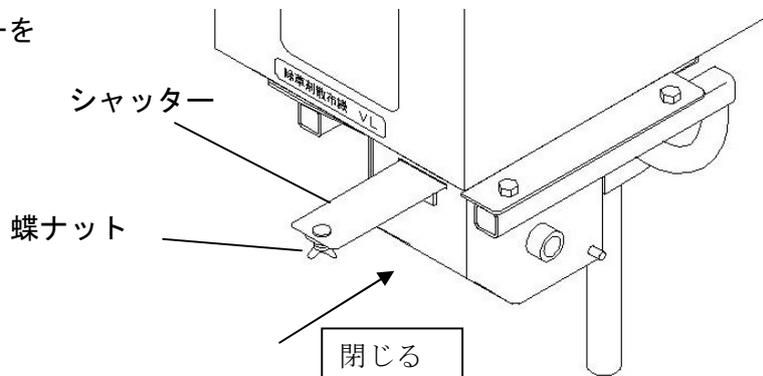
シャッターの蝶ナットを緩めて、開閉を行います。

散布作業時は、常に開けた状態にしておいてください。



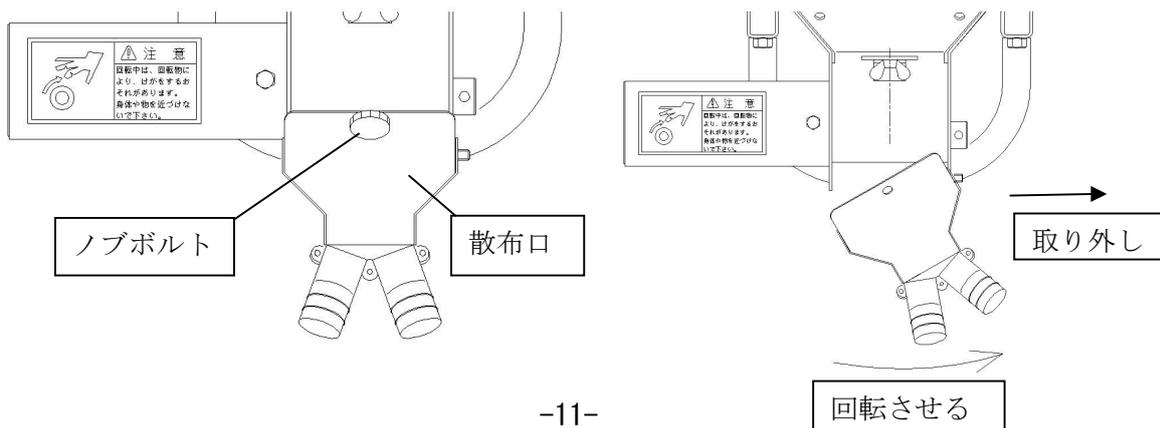
② ロール交換方法

1. 蝶ナットを緩め シャッターを閉じます。

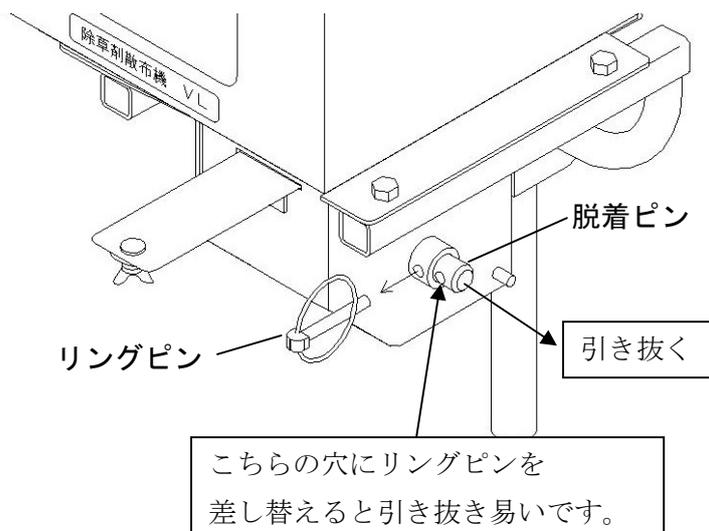


2. 散布口を外します。

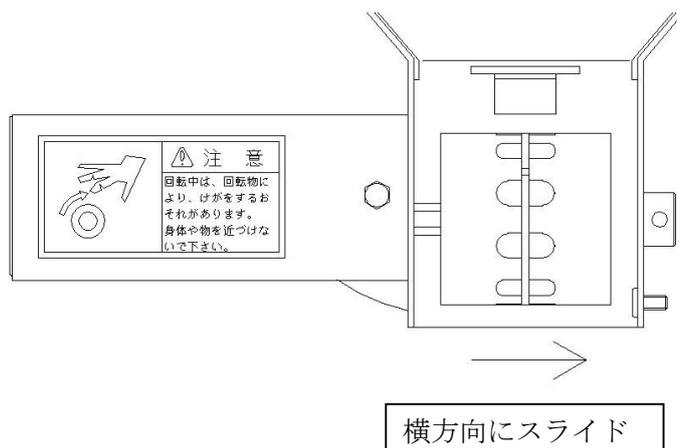
下图のように、ノブボルトを外し、散布口を横方向に回転させて取り外します。



3. 本体右側のリングピンを外し、
脱着ピンを引き抜きます。



4. ロールを取り外します。
本体の中には下図の様にロールが組み込まれています。
ロールを矢印の方向にスライドさせて外します。



5. ロールを組み付ける。
ロール取り外しの逆の手順で行いますが、最初にロールをモーター軸にはめ込む時は、ロールの六角穴とモーター軸の六角をしっかりと合わせてはめ込んでください。

③残量取り出し

上記、ロールの交換方法の手順でロールを外してください。
この時、必ずシャッターが閉じていることを確認してください。
また、ロールを外すとシャッターとロールの間に残っていた資材が排出されますので袋などで受けながらロールを外してください。
次に、シャッターを開けるとホッパー内の残量が排出されます。

散布量の調節 (ダイヤル目盛設定)

※最終ページの“ロール組み換えについて”を参照して頂いてから散布量調節を行ってください。

ダイヤル目盛の設定方法

- ①表-1により10a (1反) 当たりの作業時間を設定します。
- ②10a 当たり作業時間と10a 当たり散布量の両方の数値によって、該当する除草剤散布量表 (次ページ) からダイヤル目盛を求めます。

(例) 10a 当たりの作業時間が20分で10a 当たりの散布量が4kg (散布資材、トレファノサイド) の場合。

- ①まず、1分間当たりの散布量を求めます。

$$1 \text{ 分間当たりの散布量} = 4\text{kg} / 20 \text{ 分} = 0.2\text{kg}$$

- ②次に、除草剤別散布量表によりダイヤル目盛を求めます。

この場合、作業時間が20分のためロールMJ (多量用) が適応になります。

ダイヤル目盛は、3になります

※表記以外の除草剤を散布される場合は、あらかじめ1分間当たりの散布量を測定しておく必要があります。

表-1 の見方

10a (1反) にかかる作業時間を求めるには

- ・作業時のトラクターの車速をトラクターの取扱説明書より求めます。
- ・ロータリー幅を調べます。

下表の車速とロータリー幅の交わるところが10a にかかる作業時間となります。(単位: 分)
なお、表はスリップ損失12% (1.12) が掛けてあります。

例) ロータリー幅が1.7mで車速が2.0 km/h とする時 作業時間 = 20分 / 10a

表-1

車速 ロータリー幅	0.8 km/h	1.0 km/h	1.25 km/h	1.5 km/h	1.75 km/h	2.0 km/h	2.5 km/h	3.0 km/h	3.5 km/h	4.0 km/h	4.5 km/h
1.2m	70	56	45	37	32	28	22	19	16	14	12
1.3m	65	52	41	34	30	26	21	17	15	13	11
1.4m	60	48	38	32	27	24	19	16	14	12	11
1.5m	56	45	36	30	26	22	18	15	13	11	10
1.6m	53	42	34	28	24	21	17	14	12	11	9
1.7m	49	40	32	26	23	20	16	13	11	10	9
1.8m	47	37	30	25	21	19	15	12	11	9	8
1.9m	44	35	28	24	20	18	14	12	10	9	8
2.0m	42	34	27	22	19	17	13	11	10	8	7
2.4m	35	28	23	19	16	14	11	10	8	7	6

除草剤別散布量表 （ロールMJとロールMKで異なりますので注意してください）

ロールMJ（多量用の場合）

トレファノサイド

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.13
2	0.17
2.5	0.21
3	0.24
3.5	0.28
4	0.31
4.5	0.35
5	0.38
5.5	0.42
6	0.46
6.5	0.49
7	0.52
7.5	0.56
8	0.59
8.5	0.61
9	0.64

エコトップ

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.23
2	0.30
2.5	0.37
3	0.43
3.5	0.50
4	0.56
4.5	0.62
5	0.68
5.5	0.75
6	0.81
6.5	0.87
7	0.94
7.5	1.00
8	1.07
8.5	1.09
9	1.11

ハーモニー

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.27
2	0.36
2.5	0.48
3	0.61
3.5	0.69
4	0.76
4.5	0.83
5	0.91
5.5	0.93
6	1.05
6.5	1.12
7	1.19
7.5	1.2
8	1.24
8.5	1.26
9	1.28

ガレスG

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.13
2	0.17
2.5	0.21
3	0.24
3.5	0.28
4	0.31
4.5	0.35
5	0.38
5.5	0.42
6	0.46
6.5	0.49
7	0.52
7.5	0.56
8	0.59
8.5	0.61
9	0.64

ロールMK（少量用の場合）

トレファノサイド

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.05
2	0.06
2.5	0.08
3	0.09
3.5	0.10
4	0.11
4.5	0.13
5	0.14
5.5	0.15
6	0.16
6.5	0.18
7	0.19
7.5	0.20
8	0.21
8.5	0.22
9	0.23

エコトップ

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.09
2	0.11
2.5	0.14
3	0.16
3.5	0.18
4	0.21
4.5	0.23
5	0.25
5.5	0.26
6	0.28
6.5	0.31
7	0.33
7.5	0.36
8	0.38
8.5	0.39
9	0.40

ハーモニー

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.10
2	0.13
2.5	0.16
3	0.18
3.5	0.21
4	0.23
4.5	0.26
5	0.29
5.5	0.31
6	0.34
6.5	0.37
7	0.39
7.5	0.42
8	0.44
8.5	0.45
9	0.46

ガレースG

目盛	1 分間当りの散布量 (kg)
1.5	0.05
2	0.06
2.5	0.08
3	0.09
3.5	0.10
4	0.11
4.5	0.13
5	0.14
5.5	0.15
6	0.16
6.5	0.18
7	0.19
7.5	0.20
8	0.21
8.5	0.22
9	0.23

※ 当表による数値は目安です。ダイヤル目盛設定後、必ず実作業に合わせて調整を行ってください。

不調の発見と処置

- ・不調を発見したらすぐにその原因を調べて処置をし、故障が広がらないようにします。
- ・原因がわからないときや、修理調整しても再発するときは”お買上げ先”に相談し、点検サービスを受けて下さい。

 注意	清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行って下さい。
---	----------------------------------

 注意	モーター回転時は回転部分（ロール、スピナー）へ手や身体を近づけないで下さい。
---	--

1. 電装関係

①モーターが回らない

原因（点検箇所）	処置
ヒューズが切れている	定格容量のヒューズに交換して下さい
コントロールボックス及びモータの配線のゆるみはずれ、接触不良がある	確実に接続されているかどうかを確認して下さい
コネクタ内部の接触不良	コネクタ内部のピン及び配線を確認してください
まったく電源が入らない	電源の＋が逆につながれている

②自動スイッチが作動しない

原因（点検箇所）	処置
プルスイッチの配線のゆるみ、はずれがある	確実に接続されているか確認して下さい
コントロールボックスの電源が入っていない	電源を入れて下さい
ロータリーを下げた状態でプルスイッチが引ききれず、スイッチが入っていない	プルスイッチが引ききれる長さにチェーンを調節して下さい

清掃と保管

1) 1日の作業が終了したとき

 注意	清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行って下さい。
---	----------------------------------

- ①ホッパー内に残った薬剤を排出して下さい。
手順については11ページを見てください。
- ②ロールに付着している薬剤を取り除き、清掃して下さい。
- ③散布口を取り外し、清掃して下さい。

2) 長期の保管をするとき

- ①上記と同様の清掃をして下さい。
- ②電装のハーネスは主電源となる電源側から取外しておいて下さい

 警告	格納時は電気部品や配線類のコードを点検し、トラクターとの接続を外しておいて下さい。
---	---

ロールの組み換えについて

除草剤散布機VLは、繰り出し用ロールが2種類あります。

- 1) ロールMJ（多量用）
- 2) ロールMK（少量用）

ご購入時は、ロールMJ（多量用）を組み込んでいます。

最初に、下表から10a（1反）当りの作業時間を求めて頂き、作業時間が、ロールMJ（多量用）の適応範囲外の場合は、ロールMK（少量用）に組み替えを行ってください。

下表の の範囲はロールMJ（多量用）の適応作業時間です。（10aの作業時間が24分以下）それ以外は、ロールMK（少量用）の適応作業時間となりますので、ロールMK（少量用）に組み替えてください。

ロールの組み換え方法は、取扱説明書の11ページを参照してください。

<10a（1反）にかかる作業時間を求めるには>

- ・作業時のトラクターの車速をトラクターの取扱説明書より求めます。
- ・ロータリー幅を調べます。

下表の車速とロータリー幅の交わるところが10aにかかる作業時間となります。（単位：分）
なお、表はスリップ損失12%（1.12）が掛けてあります。

例）ロータリー幅が1.8mで車速が1.0km/hとする時 作業時間＝37分／10a

車速 ロータリー幅	車速											
	0.8 km/h	1.0 km/h	1.25 km/h	1.5 km/h	1.75 km/h	2.0 km/h	2.5 km/h	3.0 km/h	3.5 km/h	4.0 km/h	4.5 km/h	
1.2m	70	56	45	37	32	28	22	19	16	14	12	
1.3m	65	52	41	34	30	26	21	17	15	13	11	
1.4m	60	48	38	32	27	24	19	16	14	12	11	
1.5m	56	45	36	30	26	22	18	15	13	11	10	
1.6m	53	42	34	28	24	21	17	14	12	11	9	
1.7m	49	40	32	26	23	20	16	13	11	10	9	
1.8m	47	37	30	25	21	19	15	12	11	9	8	
1.9m	44	35	28	24	20	18	14	12	10	9	8	
2.0m	42	34	27	22	19	17	13	11	10	8	7	
2.4m	35	28	23	19	16	14	11	10	8	7	6	

<ロールMJとMKの見分け方>

ロールの側面に、Jの刻印があるものがMJ。Kの刻印があるものがMKです。

R3. 10 月

製造元



株式会社 ジョーニシ

〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野 4 番 1 号

TEL 0748 (62) 4110 (代表) FAX 0748 (62) 9054

ホームページ <https://www.jonishi.co.jp/>